



# あなたは 雪とどう付き合う？

12月号  
特集

「雪国に暮らす～今、冬的生活スタイルを見直す時です」に寄せられた声の紹介

昨年12月号で札幌の雪対策の在り方や雪との上手な付き合い方についての皆さんの意見を募集しました。

今回はたくさん寄せられた意見の一部、そして除雪センターの方の声なども紹介し、改めて「雪国に暮らす」ということを一緒に考えてみたいと思います。

## 声のベスト3

※複数意見はそれぞれに計算

1位  
35件

毎年の雪対策費に153億円も掛かっているなんて驚きました！

2位  
25件

私たち一人ひとりが「冬のルール」を守るべきだと感じました。

3位  
23件

まだまだ除雪が足りないので市にはもっと頑張ってもらいたい。

## 皆さんから寄せられた声

総数 127件

郵便 104件

(広報クイズの意見を含む)

ファクス 10件

Eメール 11件

その他 2件

※紹介しているご意見は、誌面スペースの都合から一部を抜粋して掲載しています。

### 雪と上手に付き合うアイデア

●雪を貯蔵して夏の冷房に使える施設を増やしたり、夏に雪山で遊んだりできるイベントを増やすといいと思います。  
(厚別区 藤本岳史さん 37歳)

●最近の除雪は車優先であまりにも除雪をし過ぎだと思えます。昔のように近所で力を合わせて雪かきをするという姿に戻れないでしょうか。  
(西区 60代 女性)



●朝のラッシュ時、雪で狭い道路が車の列でびっしり！災害のときなどどうするのか心配しています。現在大きな災害もなく日々を過ごしていますが車の時間帯規制もあってもいいのではないのでしょうか。  
(東区 昔美人さん 60代)

●春には解けてしまう雪に莫大な税金を直接費やすよりも、行政は雪関連のビジネス展開

をサポートする政策(例えば家の前の除雪サービスを介護保険のメニューに入れる)や、官民協同のPR、教育など、札幌ならではの世界に誇れるビジネスモデルづくりを！  
(西区 30代 男性)

●夏と同じ交通量があれば渋滞するのは必然です。例えば\*カーシェアリングを行って、少しでも車を減らすという雪国の知恵が必要だと思います。  
(豊平区 野沢稔さん 52歳)

●余計な電信柱や街灯を道路脇からなくすなど、雪に対応したまちづくりが必要なのではないでしょうか。  
また、冬季だけ業種によって始業時間をずらし、通勤時間の分散化を図り、渋滞を減らすといいと思います。  
(東区 金田英伸さん 29歳)



●ガソリンや軽油に除雪税を課すことを提言します。除雪された道路を走れるのならそれくらい負担してもよいのではないのでしょうか。  
(東区 40代 男性)

※車を複数の人で共同利用する仕組み。